

2005年度
(第74期)
決算説明会

2006年5月18日

NEC ネットズエスアイ株式会社
NEC Networks & System Integration Corporation

目次

I. 2005年度 決算概要

II. 2006年度 通期業績見通し

参考資料

I. 2005年度 決算概要

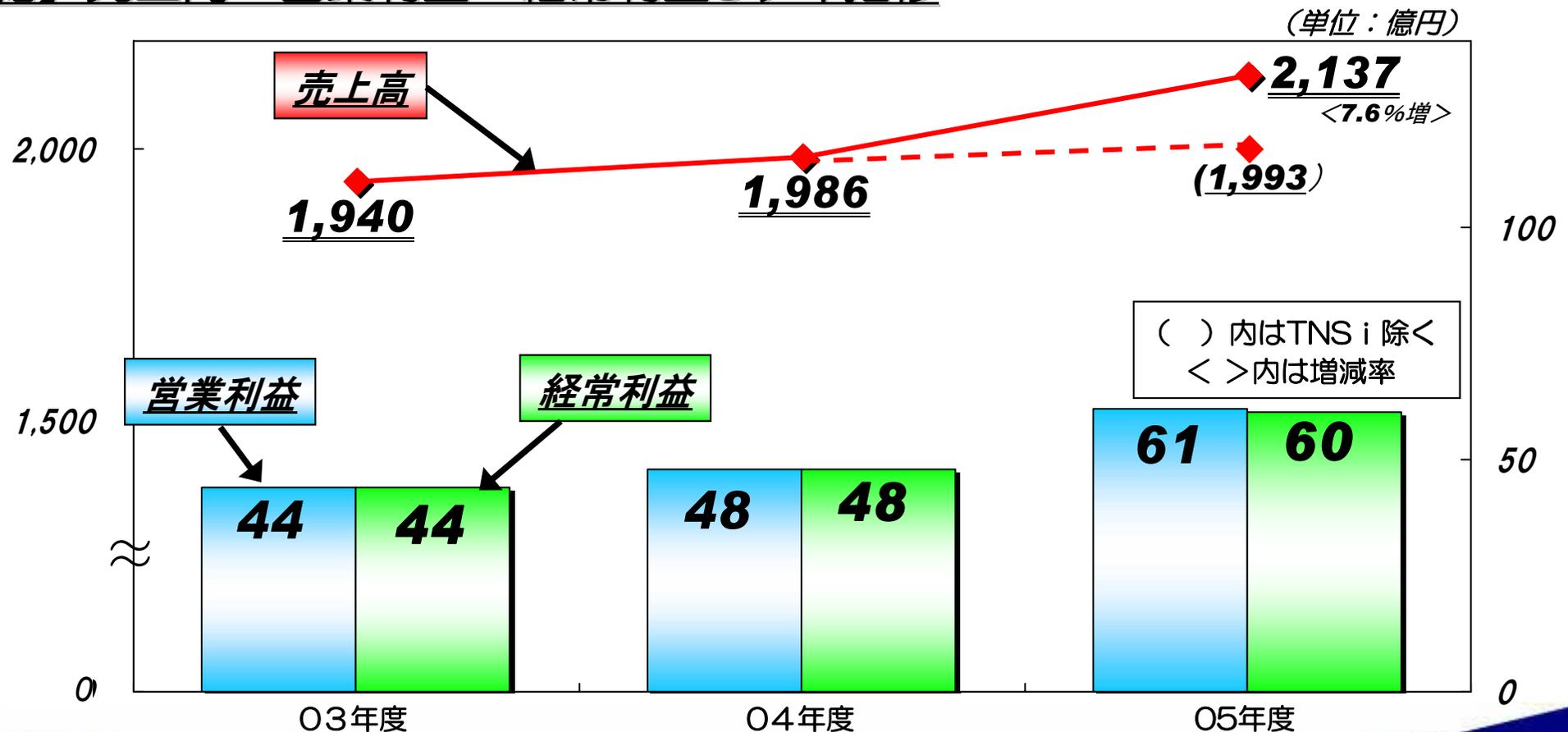
〔2005年度決算の概況〕

- ・ 2期連続の増収増益。
 - NI・サポートサービス事業およびTNSi業績が貢献
 - コストダウンも着実に成果あり

※TNSi：東洋ネットワークシステムズ（5月から連結）

※NI：ネットワークインテグレーション

【連結】売上高・営業利益・経常利益3ヶ年推移

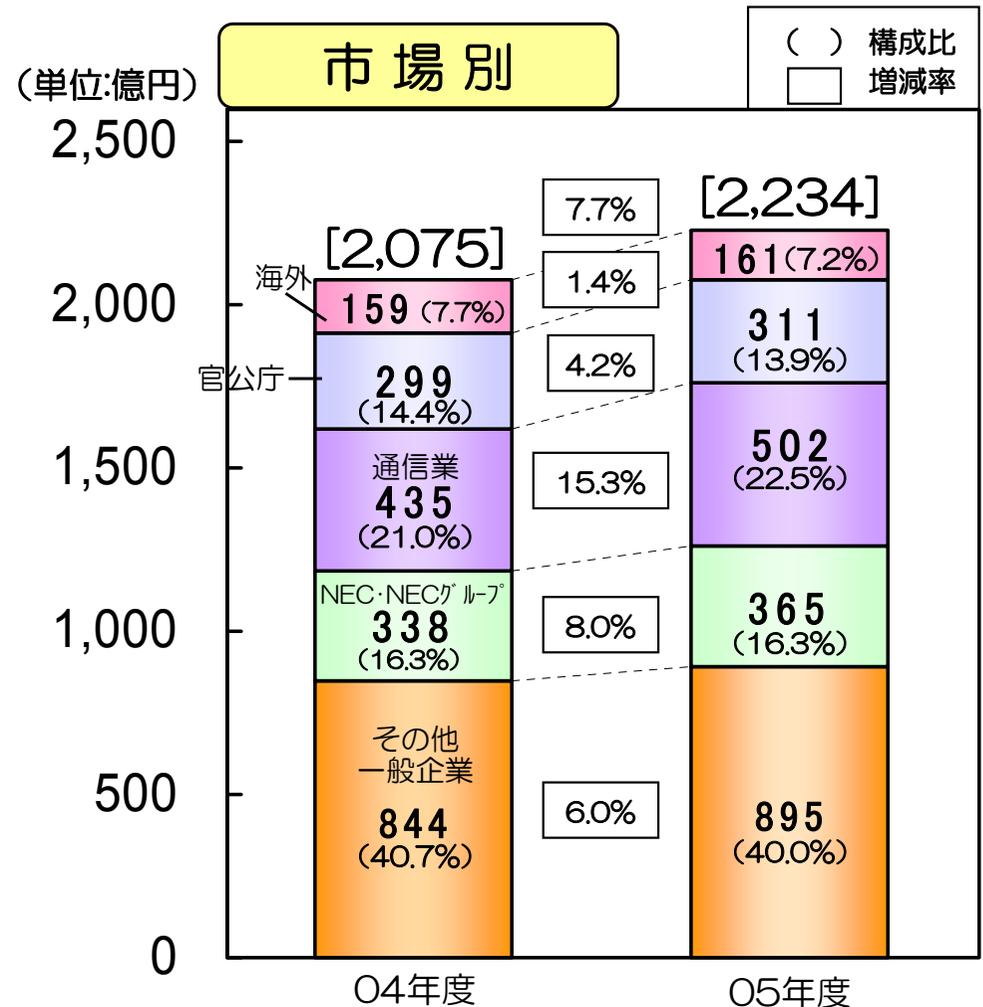
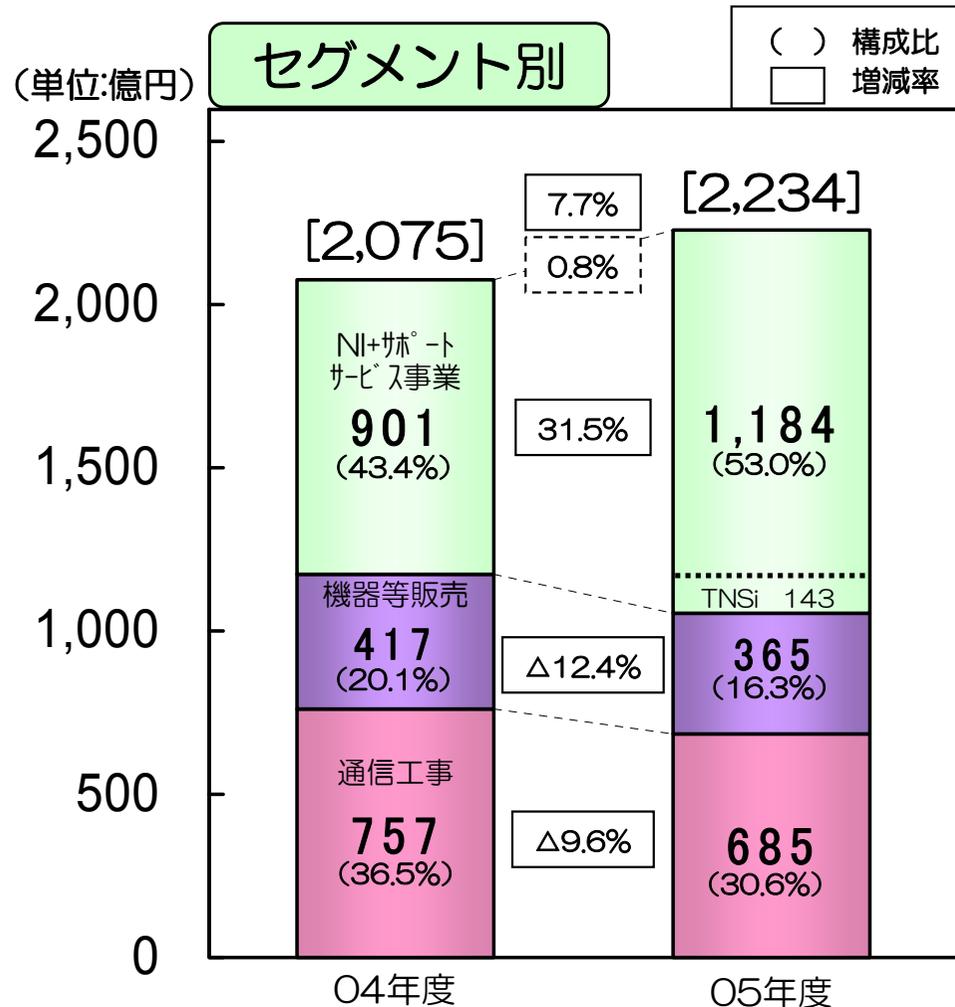


NI・サポートサービス事業が堅調に推移したこと、およびTNSiの子会社化により前期比で増加。

・通信工事業は、CATV事業者および海外向けの前期大型物件の影響などにより減少。

※TNSi：東洋ネットワークシステムズ（5月から連結）

●受注高（連結）

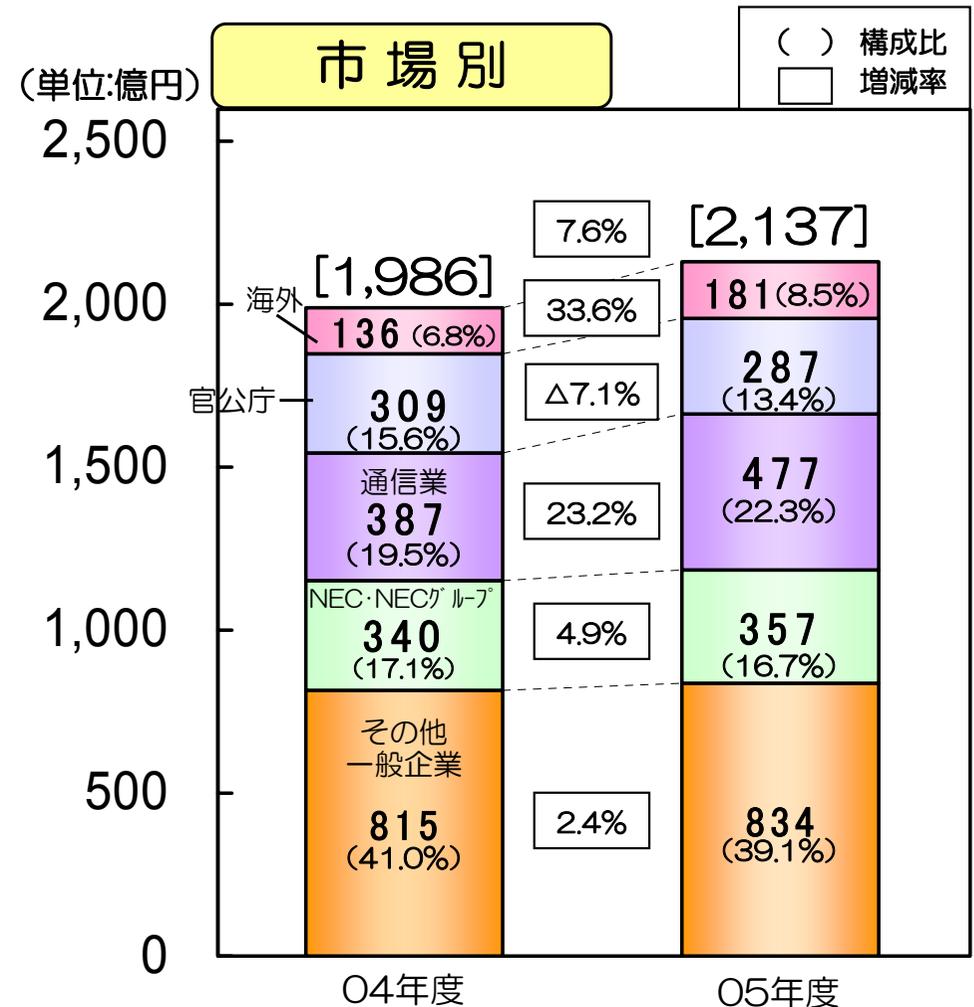
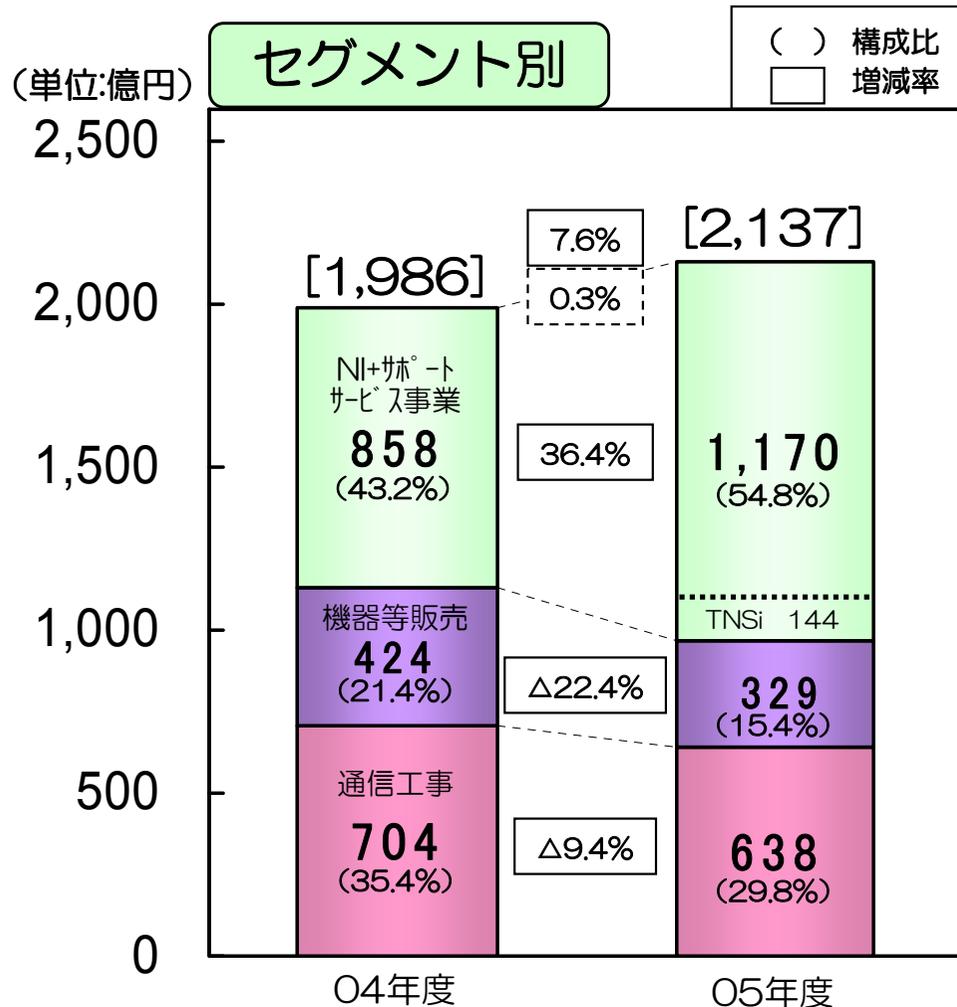


※「□」はTNSiを除く増減率
TNSiおよび機器等販売事業を除く増減率：+4.1%

受注同様、NI・サポートサービス事業が堅調に推移したこと、およびTNSiの子会社化により前期比で増加。
 ・通信工事事業は、CATV事業者向けなどの前期大型物件の影響などにより減少。

※TNSi：東洋ネットワークシステムズ（5月から連結）

●売上高（連結）



※「□」はTNSiを除く増減率
 TNSiおよび機器等販売事業を除く増減率：+6.5%

損益計算書（連結）

（ ）は売上比

（単位：百万円）

	04年度	05年度	増減率	05年度 (計画値) 2005年10月27日公表	計画比 増減率
受注高	207,460	223,383	7.7 %	226,500	△1.4%
売上高	198,625 (100.0%)	213,672 (100.0%)	7.6 %	215,000 (100.0%)	△0.6%
営業利益	4,812 (2.4%)	6,056 (2.8%)	25.9 %	5,700 (2.7%)	6.3%
経常利益	4,750 (2.4%)	5,982 (2.8%)	25.9 %	5,600 (2.6%)	6.8%
当期純利益	1,222 (0.6%)	2,609 (1.2%)	113.5 %	2,500 (1.2%)	4.4%

04年度にて、退職給付債務の償却（約130億円を5年償却）が完了

Ⅱ. 2006年度 通期業績見通し

2006年度 重点方針

ネットワーク事業領域での事業力強化

受注力強化

総合コスト改革の推進

ニッチ事業の拡大

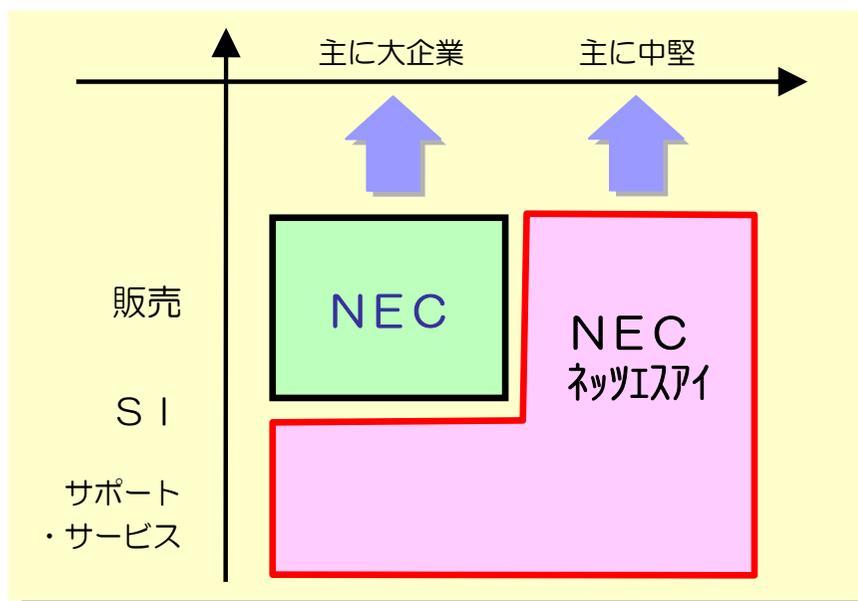
ネットワーク事業領域の事業力強化

NECグループ内でのポジショニング明確化

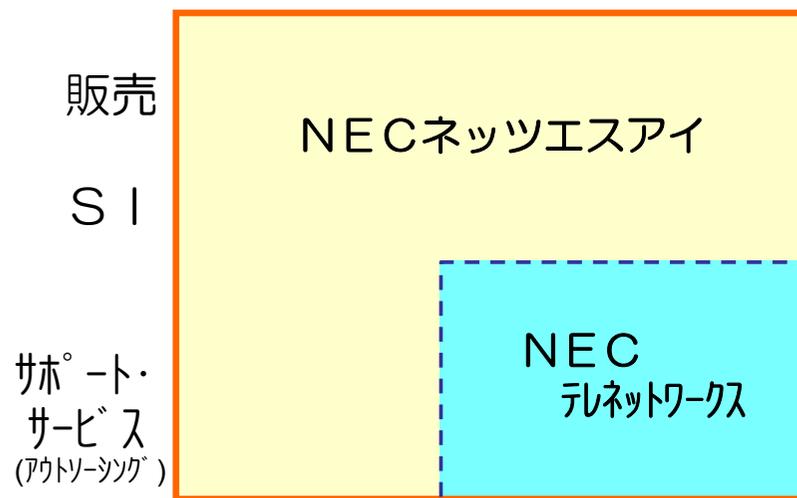
1. ネットワーク事業領域における中核会社に位置付けられる
2. NECとの協力によるエンタープライズ関連の更なる強化
3. NECテレネットワークスの子会社化

(目的) ネットワーク事業領域における対応力強化
リソースの有効活用

(参考) 企業ネットワーク関連分野の体制



グループ化後の事業イメージ



1年を目処に統合

新NECネットエスアイロード

総合NW-SI & SSへ

ネットワーク事業領域において

- ・ 営業からサポートサービスまでの一貫体制によるスピード対応
- ・ 幅広いサポートサービス体制による事業拡大

一貫体制・スピード対応

プラットフォーム(NEC他)

- ① 営業
- ② 開発
(アプリ開発・特殊機器)
- ③ SI
(プロマネ・設計・構築・現調・試験)
- ④ サポートサービス
(含むアウトソーシング)

拡大

+

当社の特徴

・ 提案から保守まで一貫対応

・ 小回りのきく事業遂行体制

・ 低いオーバーヘッドコスト

幅広いサポートサービス

NECテレネットワークスの概要

2006年4月1日より100%子会社：1年を目処に統合予定

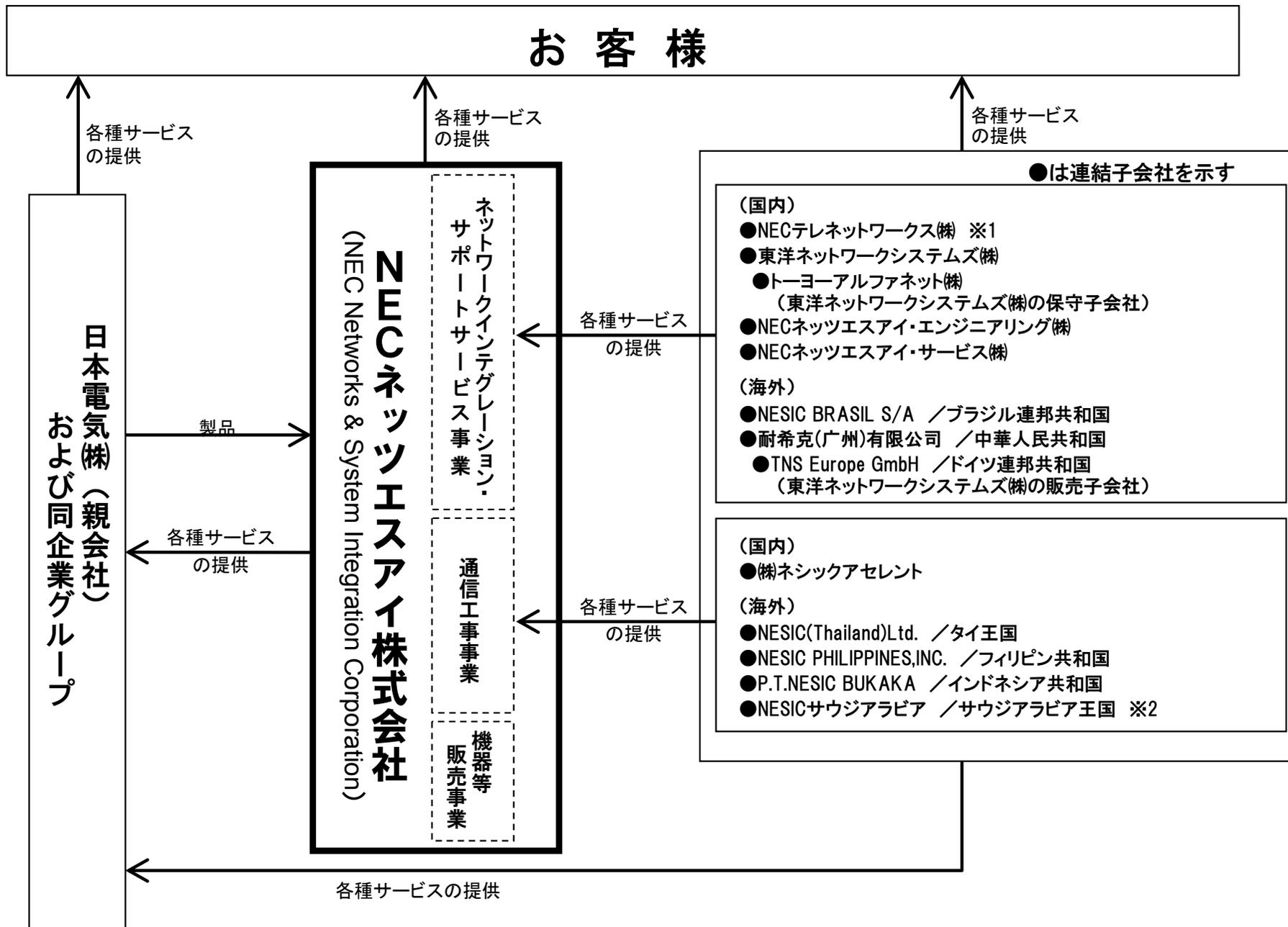
商号：NECテレネットワークス株式会社
(NEC Telenetworks, Ltd.)

事業規模：売上高420億円、営業利益12億円、総資産193億円（2005年度）

従業員数：1347名（2006年3月末）

主な事業内容：キャリアネットワークおよびパブリックネットワークの
保守、運用監視サービスおよび現地調整など。
およそ9割強がNECグループからの受注。

(ご参考) NECネットエスアイグループ体制



※1: NECテレネットワークス株式会社は、平成18年4月1日に当社の連結子会社となりました。
 ※2: NESICサウジアラビアは、サウジアラビア王国の現地法人として平成18年4月11日に設立いたしました。
 正式商号は「Networks & System Integration Saudi Arabia Co. Ltd.」であります。

受注力強化

1. 「中堅ユーザ拡大プロジェクト」スタート
2. 「PP(プロスペクト)3倍運動」の展開
※受注予算の3倍を目指す
3. 受注拡大のための
コンカレントエンジニアリング強化
(原価低減活動の一環)
4. NECとの連携強化

総合コスト改革の推進

総合コスト改革活動の定着をめざして！

総合コスト改革活動

原価低減活動

- ・コンカレントエンジニアリング
 - ・競争購買
 - ・査定
- などの徹底

+ 加えて

タイムマネジメント
の改善

次なるステップ

実行力の強化

業務スタイル改革
実戦人材育成

セグメント別粗利益率（連結）

業 容	04年度	05年度	増 減	06年度 (計画)	増 減
NI・ サポートサービス事業	14.1%	14.4%	0.3ポイント	14.6%	0.2ポイント
通信工事事業	12.0%	13.4%	1.4ポイント	13.4%	0.0ポイント
機器等販売事業	2.8%	3.6%	0.8ポイント	2.8%	△0.8ポイント
全 社	10.9%	12.4%	1.5ポイント	12.7%	0.3ポイント

ニッチ事業の拡大（05年度実績：60億、06年度目標：110億）

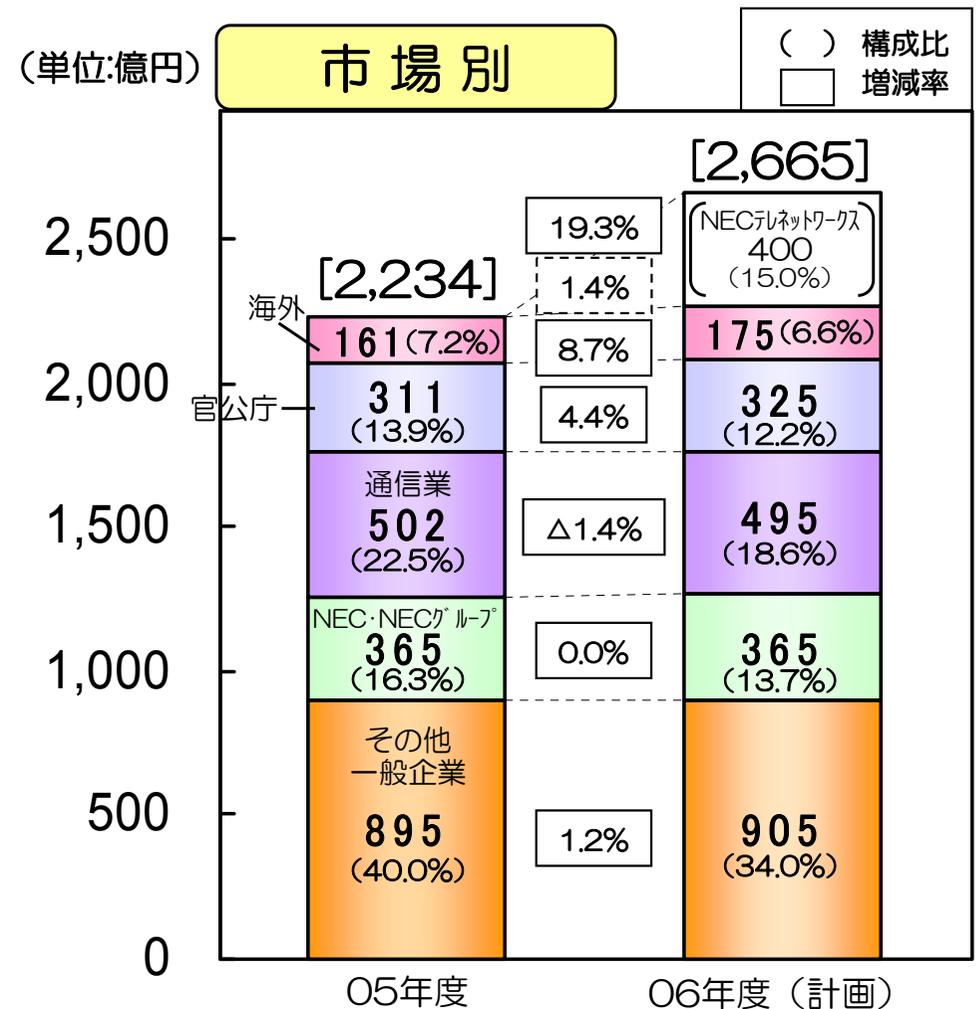
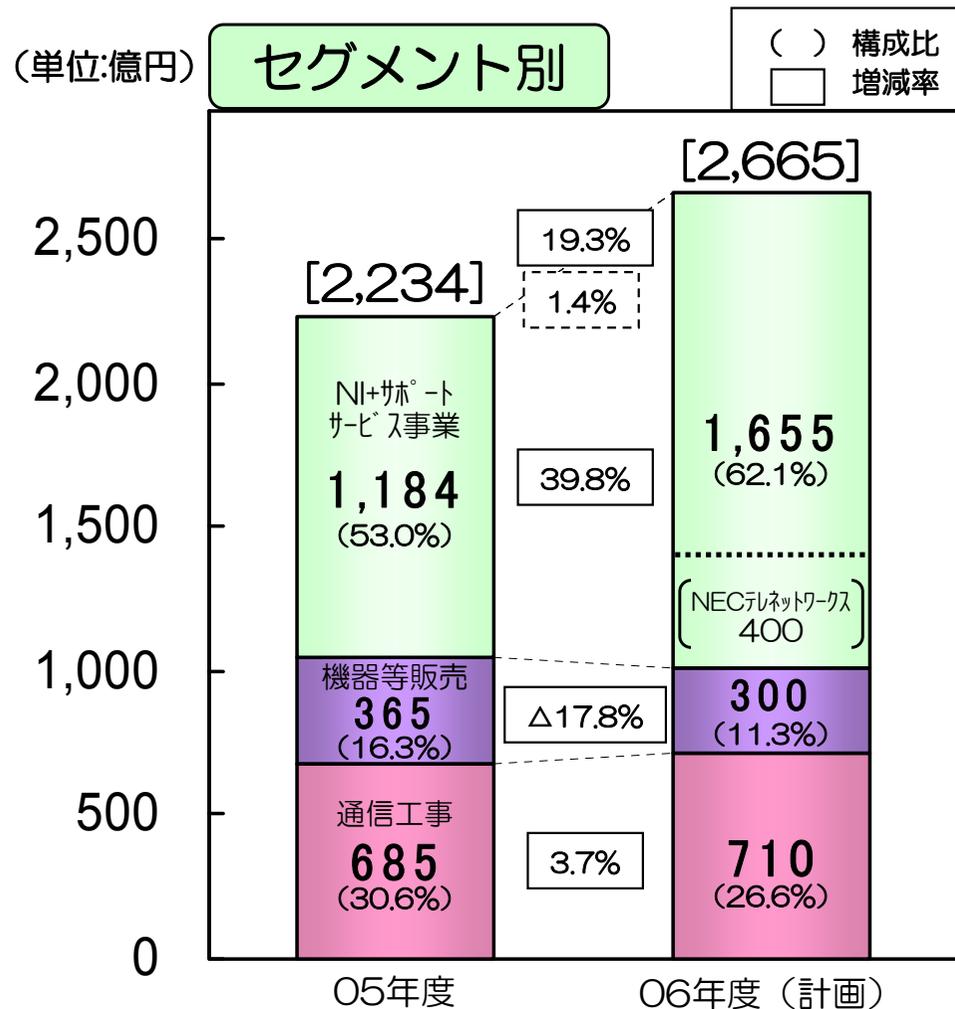
主なニッチ事業

システム工材	FRPアンテナ支持柱、省エネ型キュービクル 主に通信事業者へ納入
鉄道ソリューション	IP回線を利用した駅務システム、踏切監視システムなど 主に首都圏の私鉄各社へ導入
駐機位置指示システム (VDGS)	飛行機の安全・確実な駐機誘導を無人で行うシステム (国内での独占販売権を所有) 新東京国際空港（成田）をはじめ国内へ導入
VoIP一斉同報システム	VoIPの特性を活かした一斉同報システム 自治体、金融機関等へ導入
マッピングシステム (Cable-View)	通信設備の伝送路設計および管理用システム CATV事業者、通信事業者、自治体等へ導入
PLC（電力線通信）	電力線を利用した高速データ通信システム 主に海外（ヨーロッパ、香港）へ導入 2006年度中に国内では宅内利用が解禁予定
コンテンツ販売機「デジらく」	店舗設置型のデジタルコンテンツ販売機 レンタルビデオチェーン店などに導入
セルフスタンド向け端末	セルフ型ガソリンスタンド向けの端末（精算機） 通常片側だけの操作部分を両面にして利便性を向上
その他	電子ペーパー、トレーサビリティ、PCパラフィールド、 駐輪場システム 等

NECテレネットワークス業績(4月に子会社化)により増加

- ・NI・サポートサービス事業は、NECテレネットワークスにより増加。
- ・通信工事業は、回復見込み。

●受注高 (連結)

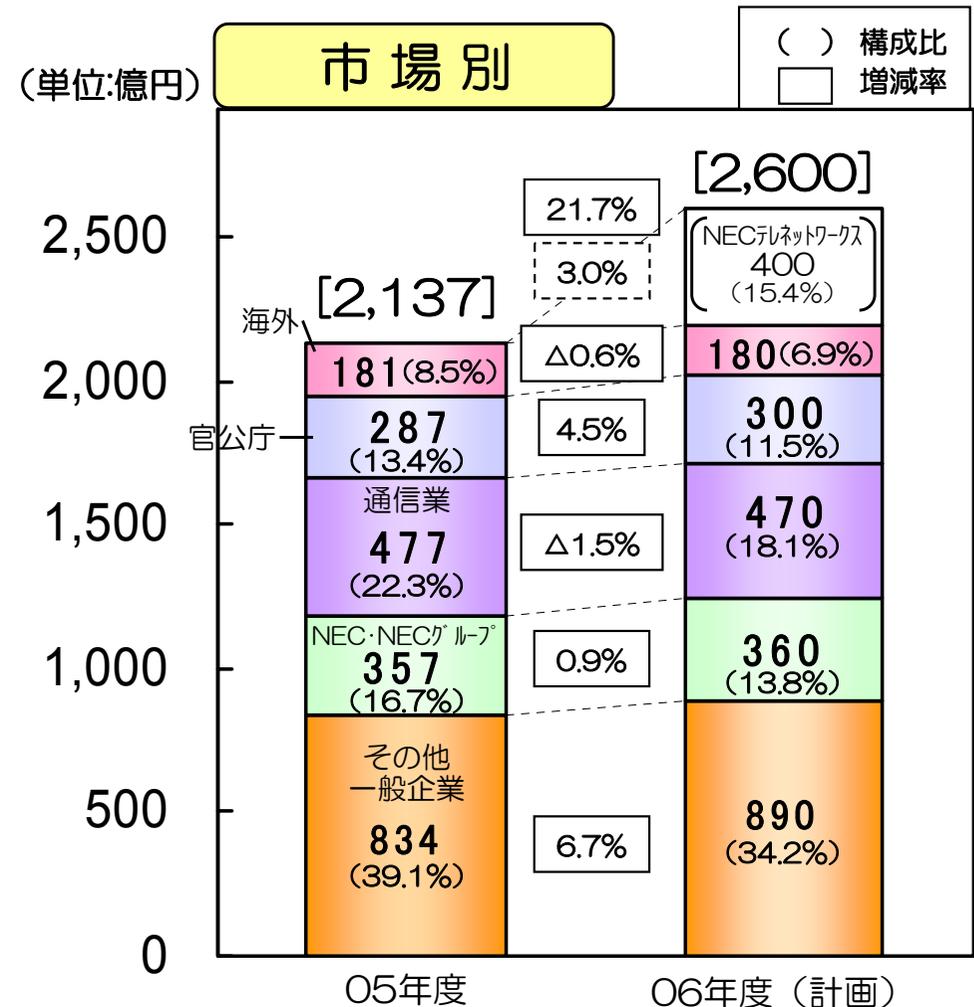
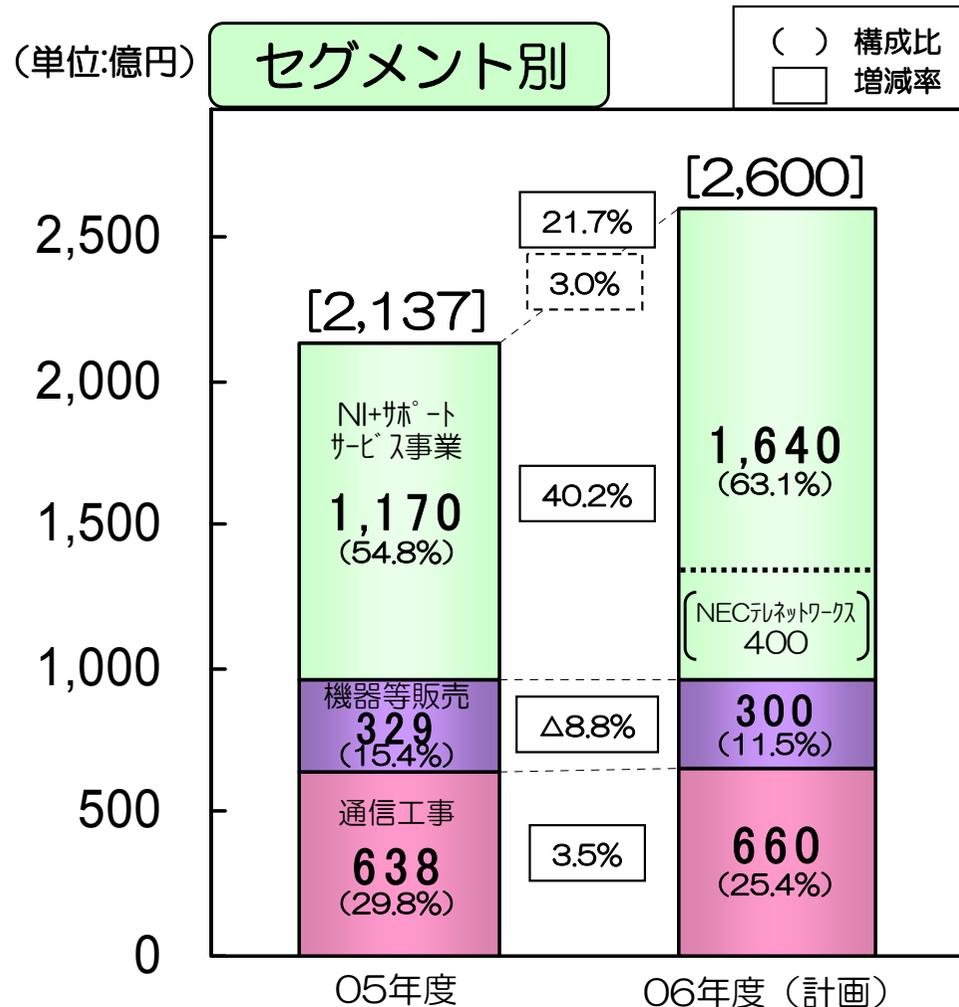


※ [] はNECテレネットワークスを除く増減率
NECテレネットワークスおよび機器等販売事業を除く増減率: +5.2%

受注同様、NECテレネットワークス業績(4月に子会社化)により増加

- ・NI・サポートサービス事業は、NECテレネットワークスにより増加。
- ・通信工事事業は、回復見込み。

●売上高 (連結)



※ [] はNECテレネットワークスを除く増減率
NECテレネットワークスおよび機器等販売事業を除く増減率: +5.1%

● 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

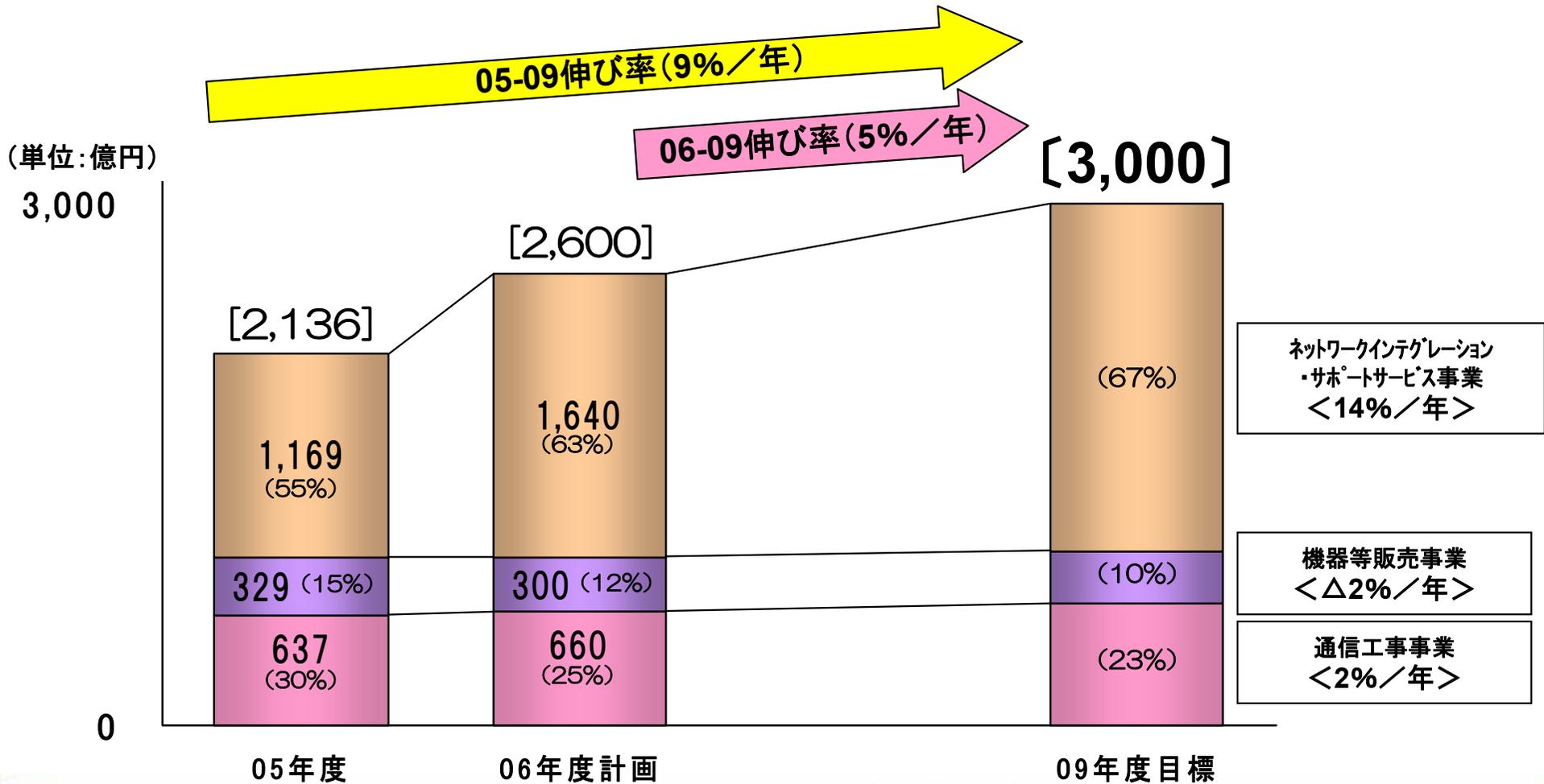
	05年度	06年度 （計画）	増減率
受注高	223,383	266,500	19.3%
売上高	213,672	260,000	21.7%
営業利益	6,056	7,900	30.4%
経常利益	5,982	7,600	27.0%
当期純利益	2,609	3,800	45.6%

（参考） NECテレネットワーク 06年度
42,000
42,000
1,700

※NECテレネットワークスの
受注高、売上高には
内部取引（約20億円）含む

中期目標（2009年度・連結）

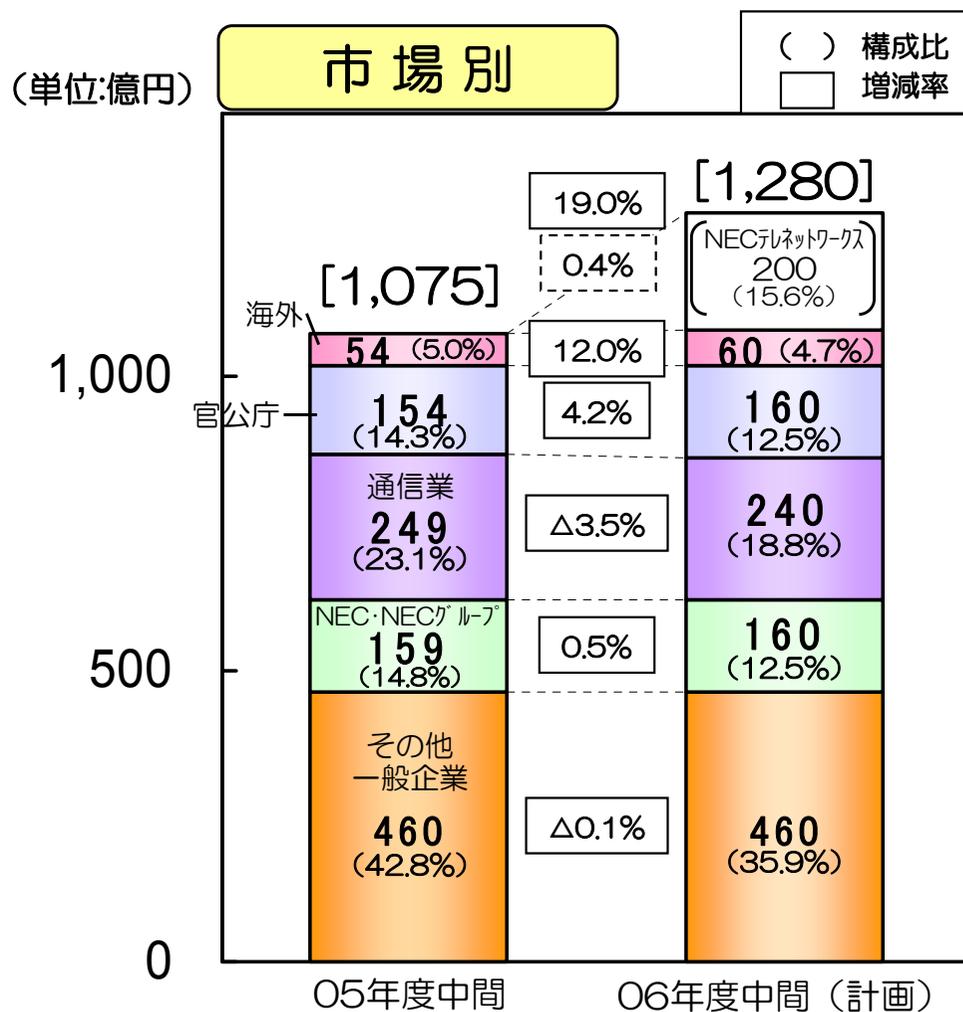
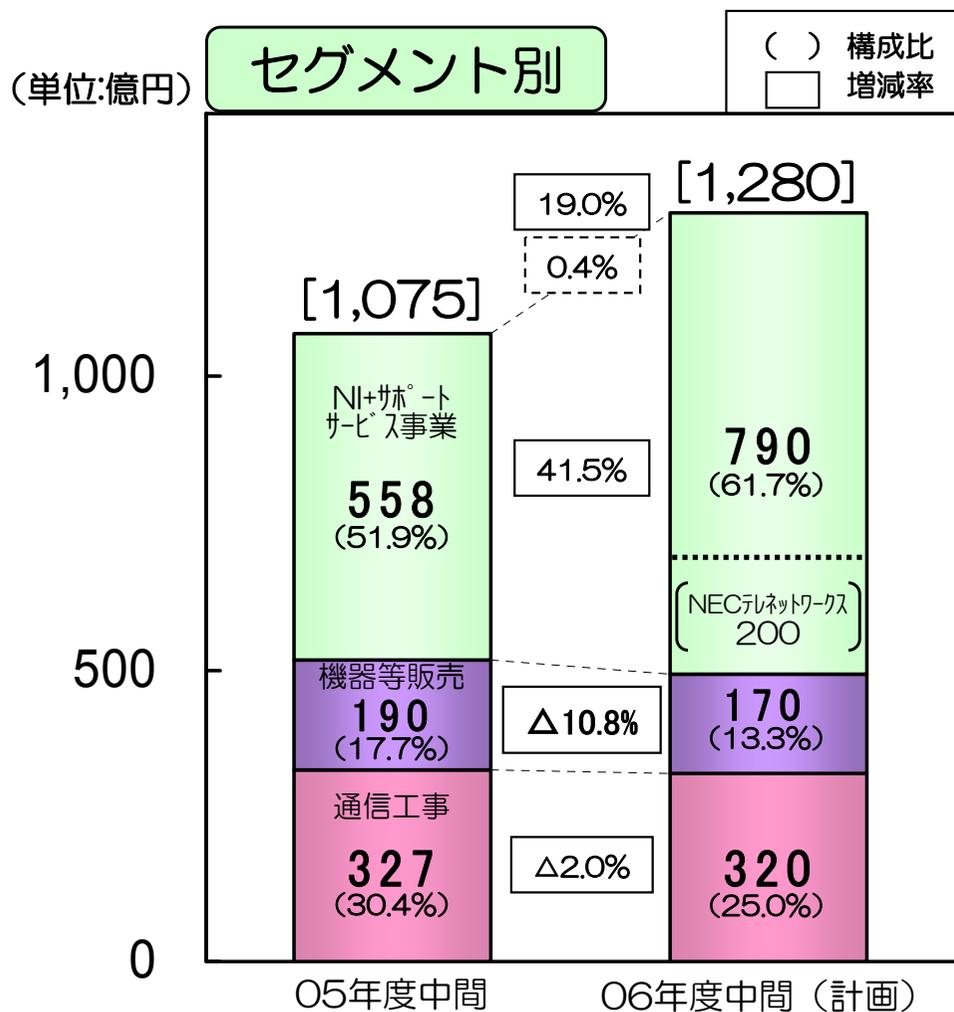
- ・ 売上高 : 3,000億円
(’05→’09 年平均伸び率: 9%)
- ・ 営業利益: 115億円 (利益率3.8%) を目指す



注 () 内は構成比を表す。
< > 内は05-09の年平均伸び率を表す。

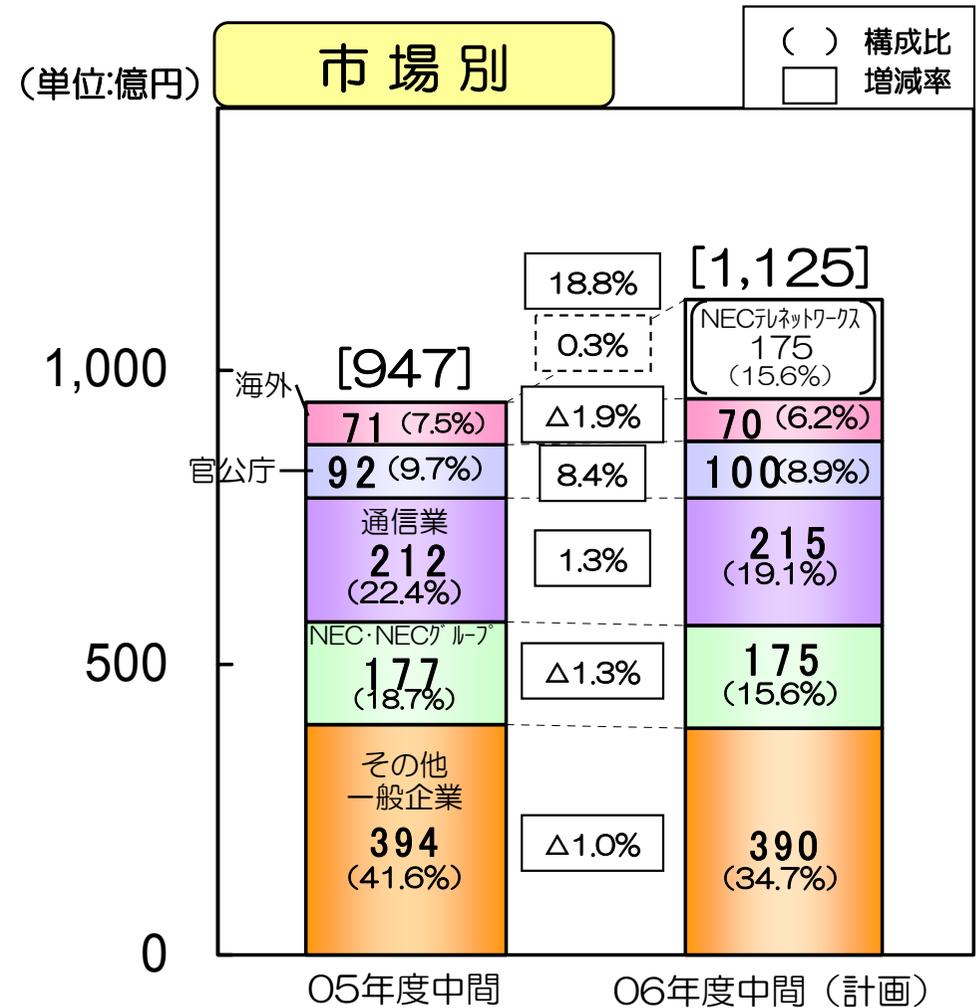
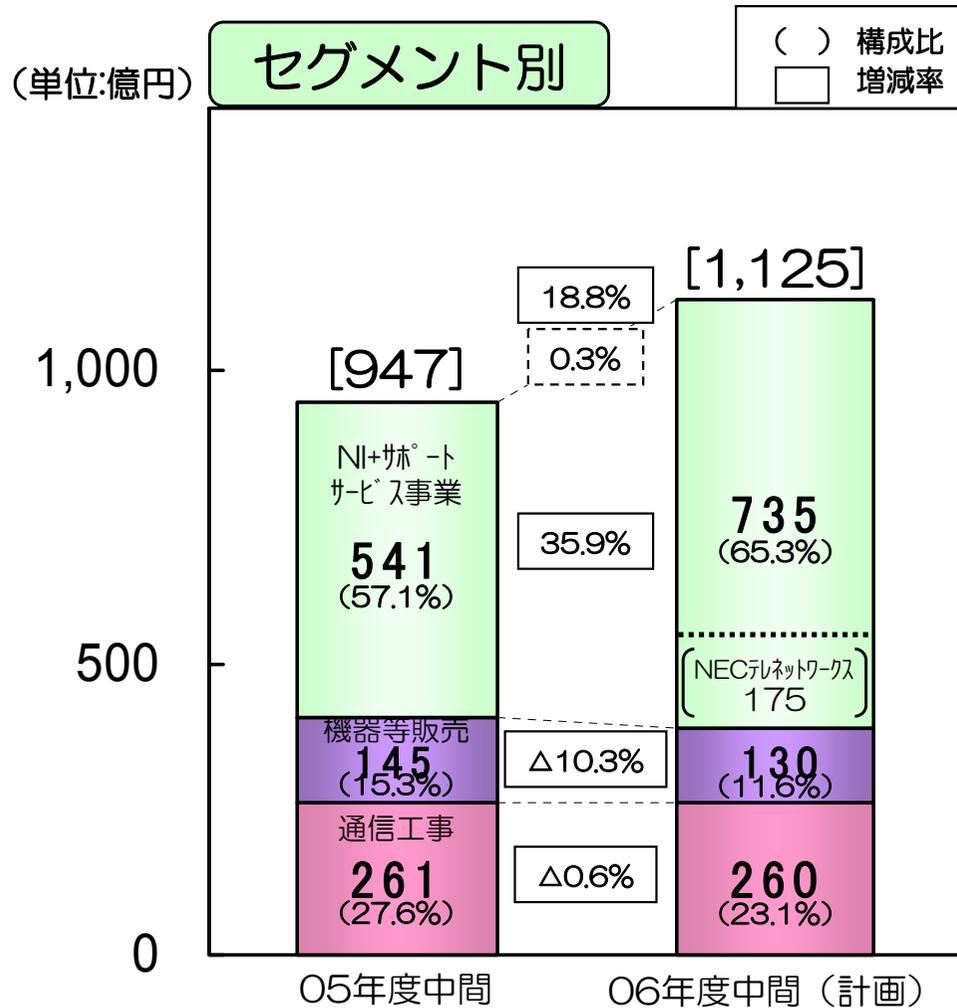
(ご参考)
2007年3月期（中間）業績見通し

● 受注高 (連結)



※ [] は NEC テレネットワークスを除く増減率
 NEC テレネットワークスおよび機器等販売事業を除く増減率: +2.8%

●売上高 (連結)



※ [] は NECテレネットワークスを除く増減率
 NECテレネットワークスおよび機器等販売事業を除く増減率: +2.2%

●損益計算書 (連結)

(単位：百万円)

	05年度中間	06年度中間 (計画)	増減率
受注高	107,548	128,000	19.0%
売上高	94,734	112,500	18.8%
営業利益	2,198	2,700	22.8%
経常利益	2,182	2,600	19.1%
当期純利益	794	1,200	51.0%

(参考) NECネットワークス 06年度中間
21,000
18,500
500

※NECテレネットワークスの
受注高、売上高には
内部取引(約10億円)含む

セグメント別粗利益率 (連結)

業 容	05年度中間	06年度中間 (計画)	増 減
NI・サポートサービス事業	14.5%	14.5%	0.0ポイント
通信工事事業	13.1%	13.8%	0.7ポイント
機器等販売事業	3.9%	3.2%	△0.7ポイント
全 社	12.5%	13.0%	0.5ポイント

本資料についてのご注意

本資料（「2005年度（第74期）決算説明会」）に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないためにリスクや不確定要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などです。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。